

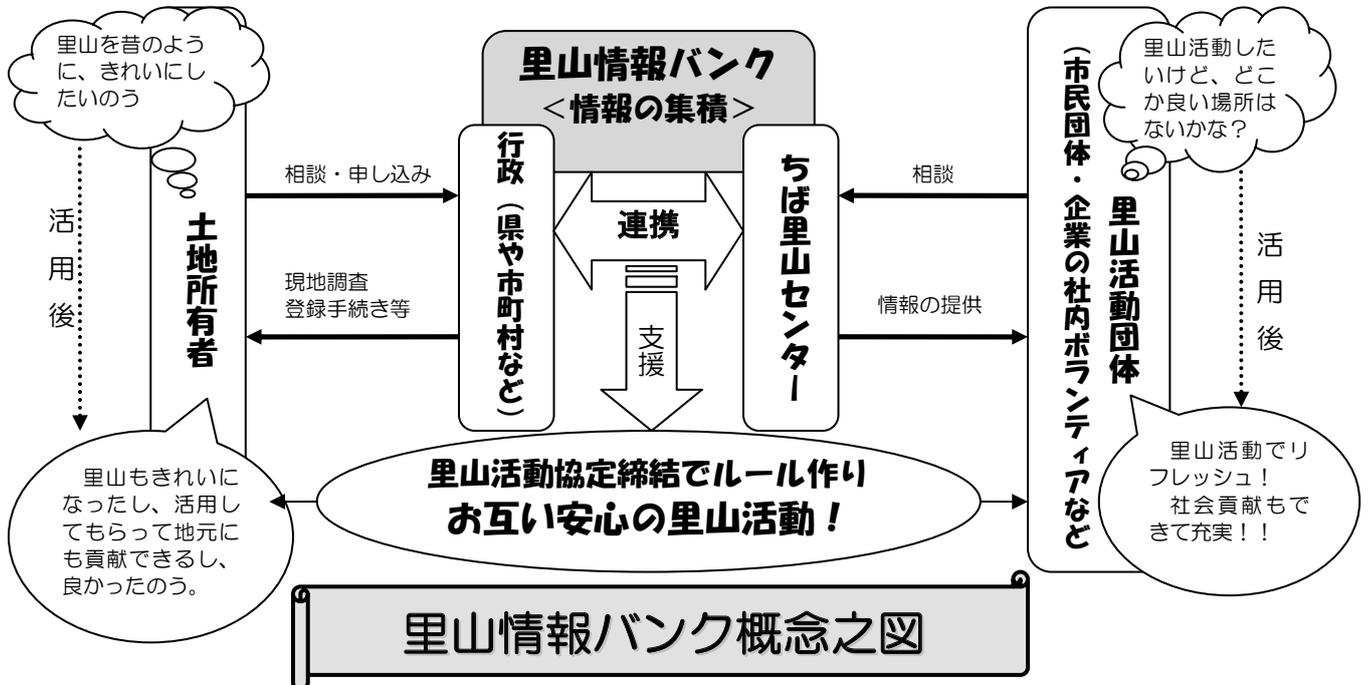
ちば里山新聞

(第4号)

編集 発行 ちば里山センター
袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148
電話 0438-62-8895
題字 倉島 貴浩
(ワークホーム里山の仲間たち)

里山情報バンクはじめます

千葉県では、里山を整備して欲しい土地所有者と、里山活動をしたい！という里山活動団体（市民団体・社内ボランティアなど）を結びつけるために、里山情報バンクをはじめます。11月運用開始予定ですので、是非ともご活用下さい。



Q1. 里山情報バンクってなに？

A1. 里山活動をしたい人と、里山を活用して欲しい土地所有者とを結びつけるための制度です。

Q2. 土地所有者ですが、登録するにはどうすればよいですか？

A2. お近くの県の農林振興センターに相談してください。*申込みされても登録できない場合があります。

Q3. 里山活動団体ですが、フィールドの紹介をしてもらえますか？

A3. まずは、右記ちば里山センターまで、ご相談下さい。*紹介出来ない場合もあります。

Q4. いつからはじまるの？

A4. 今年の11月運用開始予定です。8月から、土地所有者によるフィールドの登録申込みは受け付けています。ぜひご活用下さい。

Q6. 個人情報の扱いは大丈夫？

A6. 里山情報バンクでは、土地所有者の個人名や土地を特定できる情報は、取り扱いませんので、ご安心下さい。

Q5. フィールドの一覧などはありますか？

A5. 下記、ちば里山センターホームページ上で掲載予定です。

Q5. 問い合わせ先は？

A5. 下記までお問い合わせ下さい。

◆ちば里山センター

電話：0438-62-8895

メール：info@chiba-satoyama.net

URL：http://www.chiba-satoyama.net/

◆千葉県みどり推進課

電話：043-223-3684

県内に広がる里山活動の「わ」!

千葉県里山条例が施行されてはや1年がすぎ、県内では多くの里山活動団体がうまれました。里山活動の「わ」を広げ、里山活動をさらに盛り上げていきましょう!

国土地理院系 平14総研 第149号

<市町村別里山活動団体分布図>



千葉県立中央博物館
県庁

千葉県森林研究センター

ちば里山センター
(社)千葉県緑化推進委員会

●正会員（認定活動協定ナシ）：32団体
 ★正会員（認定活動協定アリ）：20団体
 ◆会員外（認定活動協定アリ）：12団体
 *認定活動協定とは、千葉県里山条例に基づき、千葉県知事の認定を受けた里山活動協定です。
 平成17年度7月末現在

ちば里山センター会員数：117
 内訳：正会員52、賛助会員65

*この地図は白地図「KenMap」の画像を編集して作成

<里山活動団体活動場所別集成表>

*正会員及び里山活動協定締結団体を、活動地区、団体名の順で、50音順に掲載

活動場所	団体名	活動場所	団体名	活動場所	団体名	
安房	鴨川市 ●大山千枚田保存会	香取	小見川町 ★小見川竹炭研究会	千葉	千葉市 ★ちば環境情報センター	
	鴨川市 ●鴨川里山を守る会		神崎町 ★水と森と人とIN神崎		千葉市 ●ちば森づくりの会	
	千倉町 ◆たのくろ里山保存会		大栄町 ◆前林里山を守る会		千葉市 ●ちば・谷津田フォーラム	
	丸山町 ●ぼんた里山の会		多古町 ★桜宮自然公園をつくる会		千葉市 ●花見川の環境を守る会	
	丸山町 ●安馬谷里山研究会		東庄町 ◆NPOひがた八萬石		千葉市 ★谷当グリーンクラブ	
	丸山町 ◆里山保全「自然塾」		山田町 ◆コスモスの花		千葉市 ★リコー千葉ふれあいの森	
	丸山町 ◆里山保全「自然塾」		山田町 ◆ボランティア集団やまと		千葉市 ●ワークホーム里山の仲間たち	
夷隅	大多喜町 ◆養老溪谷ふる里を守る会	君津	君津市 ★ちば千年の森をつくる会	長生	長生村 ●肩綱竹炭の会	
	岬町 ★桑田里山の会		君津市 ◆「にった生美の里」の会		長南町 ★長生森の会	
印旛	佐倉市 ★さくらグリーンクラブ	山武	袖ヶ浦市 ●里山を歩く会		東葛飾	茂原市 ●茂原自然と遊ぶ会
	酒々井町 ★酒々井里山づくりフォーラム		山武町 ●山武に雑木林をつくる会	柏市 ◆ちば里山トラスト		
	白井市 ●しろい環境塾	山武町 ★山武町環境問題連絡協議会	東葛飾	鎌ヶ谷市 ●ホテルの里を守る会		
	成田市 ●「成田さくらの里」里親の会	東金市 ★NPOのれんを守る会		船橋市 ◆行々（おどろ）林せせらぎの森		
	成田市 ●成田・里山を育てる会	市原市 ★いちほら里山会		船橋市 ★豊富どんぐりの森		
	旛	四街道市 ●あさひクスギの里	市原市 ●いちほら里山クラブ	船橋市 ●ふなばしネイチャーゲームの会	県内各地	松戸市 ●松戸里やま応援団
		四街道市 ●四街道グリーンボランティアース	市原市 ●市原米沢の森を考える会	千葉市 ●里山シンポジウム実行委員会		
四街道市 ●四街道サンデー木工倶楽部木楽会		市原市 ★いづみの会	千葉市 ●竹文化振興協会千葉県支部			
四街道市 ●四街道自然同好会		市原市 ★上総里山会	千葉市 ●千葉県自然観察指導員協議会			
八街市 ◆グリーンアース YACHIMATA		市原市 ◆樹木・環境ネットワーク協会	習志野市 ●残土・産廃問題ネットワーク・ちば			
海匝	八日市場市 ★アルカディアの会	市原市 ★炭友会	東京 ●日本雁を保護する会(東京支部)			
	八日市場市 ●飯高の巨樹と里山物語	市原市 ●もったねえよ・いちほら				
		市原市 ★CCC自然文化創造工場 関東事業部				

*スペースの都合上、NPO法人の表記は割愛しました。

平成17年度の主な活動

6月12日の平成17年度通常総会で、今年度事業が承認されました。

今年度は、前年度に引き続き、会員募集や情報収集など、団体の基盤固めを行うとともに、自主財源の確保や運営体制の確立など、団体のNPO法人化を視野に入れた活動をしていきます。

また、会員から提案のあった保険制度についても検討していきます。

1. 里山活動団体間のネットワークの構築

平成16年度でも既に、他団体の炭窯づくりの手伝いや、農業支援活動のサポートなど、得意分野を活かした交流が行われています。今年度は、里山情報バンクもはじまりネットワークの幅も広がりを見せています。構築したネットワークを活かして交流し、活動の幅を広げてください。

2. イベントの開催

多くの方々に広く里山に関する理解や関心を深めてもらい、また会員の活動を広くPRするために、県内各地でイベントを開催します。すでに5月の里山フェスティバルにおいて、里山シンポジウム、里山体験を行いました。

今後は、11月3日(木)山武町にて里山の市、また1日里山活動体験を県内各地で行う予定です。

3. 技術指導

会員のレベルアップを目的として、下記のとおり研修会および講習会を開催します。

(1) 里山公開講座「現場で役立つ里山の森を活かす知恵と技術一きのこの森づくり」

里山に関する講習会を、森林研究センターなどの協力を得て、下記日程にて行う予定です。

9/15(木)、10/6(木)、10/15(土)、10/16(日)、11/24(木)、2/未定

日頃慣れ親しんでいる里山を、いろいろな面から知ることによって、活動の幅を広げる機会にしてください。

現在、参加者募集中！人気講座(予定)のためお申し込みはおはやめに。*応募多数の場合は抽選となります。

(2) 初心者向け技術講習会

楽しい里山活動も、怪我をしてしまったりは台無しです。そこで作業の安全意識を高めるための講習会を、林業サービスセンターの協力を得て行います。現在、フィールドを提供していただける正会員を募集しています。

9/25(日)、10/8(土)、11/26(土)、12/3(土)、1/21(土)、2/11(土)

*上記日程以外にも、林業サービスセンターで、有料ですが講習会が行われていますので、参加を希望される方はお問い合わせ下さい。
林業サービスセンター 電話：0439-66-1091

(3) 指導者育成のための技術研修会

里山での作業は危険を多く含んでおり、特に多人数での作業では、全体を把握し、安全を確認する監督の視点が必要になってきます。そこで、団体の指導者などを対象に、プロの指導を受けて、安全に保育・伐倒を行うための高度な技術を身につけるための研修を、県内森林組合の作業現場で実施します。

4. 里山新聞の発行(4回予定)、ホームページ、メーリングリスト

里山新聞、ホームページ、メーリングリストなどを活用して、県内外に広く、里山にかかわる情報を発信していきます。

*ホームページURL：<http://www.chiba-satoyama.net/>

5. 里山相談

里山に関する質問や相談を受け、助言や指導など、必要な支援を行います。

6. 里山に関する施策提言

里山を良くするために必要なことについて、県当局に対して提言を行います。

7. 保険制度の検討

里山活動にかかわる保険制度について、会員を対象に保険に対するニーズなどを調査し検討します。

★おめでとうございます！

正会員の「水と森と人とIN神崎」さんが、
コカ・コーラ環境教育賞を受賞されました！
受賞をきっかけに、活動に弾みをつけて、
これからもがんばってください！

★事務局から★

7月に入り、事務局の仲間が増えました！
新メンバーの伊藤さんは、企業の人的支援として、
東京電力さんから派遣されています。
伊藤さんが加わって、事務局もパワーアップ!?

近年、里山の多様な活用のひとつとして、森林療法が注目されています。今回は、千葉県森林研究センターの総谷さんに、森林療法を紹介していただきました。

★里山活動で健康づくり

かせたにたまみ

総谷珠美（千葉県森林研究センター）

日本で「森林浴」という言葉が産声を上げてから23年が経ちます。近年、森林に対する国民の期待が多様化・高度化する中で、森林療法（森林セラピー）に対する期待が高まっています。

森林療法とは、森林の地形や自然を利用した医療、リハビリテーション、カウンセリングなどをさします。具体的には、森林浴や森林レクリエーションを通じた健康回復・維持・増進活動のことです。ドイツでは、森林散策を医療に取り入れた自然療法（クナイプ療法）が定着し、児童のコミュニケーション能力の回復、心身障害者の自立に限らず、高齢者の健康維持や回復に効果があることが知られています。

日本は少子高齢化時代を迎え、年々増えつづける医療費が問題視されています。また、ストレス社会といわれる現代では、心の病による自殺や犯罪があとをたちません。そこで、平成15年3月30日に林野庁と厚生労働省が中心となって森林セラピー研究会が設立され、森林の有する癒し効果を有効に活用し、国民の健康づくりに役立てていこうとしています。

平成16年7月には、人の生理的効果に着目した世界初の森林浴実験が千葉県立清和県民の森で実施されました。この結果から、明るく管理された雑木林で過ごす心理的や生理的なリラックス効果があることが明らかとなりました。



森林浴による生理的効果の測定

また、千葉県では数年前から「健康と癒しの森整備事業」に取り組み、様々な医療機関や保育園と共に高齢者、幼児、障害者を対象として、より具体的な森林療法プログラムの作成や効果検証を試みています。

その結果から、認知症高齢者が森林で活動することによって、問題行動が減少し、夜間によく眠れることがわかりました。これは介護者にとりまして良い結果であると言えます。また、森林浴中に花や実に触れたり、匂いをかいだり、指先を使って笹舟等を作るこ

となどで、五感が刺激されるだけではなく、楽しみながら機能回復訓練にもなることがわかってきています。



自然とのふれあい

笹舟作り

一方、幼児や障害者も森林で活動することによって、他者と触れ合う機会が増え、コミュニケーション能力が向上し、心の安定を取り戻しているようにみうけられました。今後、研究を重ねる必要はありますが、何らかの効果が期待できると考えています。

しかし、残念なことに高齢者、幼児、障害者が使える明るく平坦で安全な遊歩道が整備されている森林が少ないことも事実です。千葉県の森林は、ほとんどが里山と言ってよいほど、私たちの生活に近い場所にあります。その里山が整備されて人が入れるようになれば、日々の健康づくりの場として役立つに違いありません。

また、森の整備作業を行うことによっても気分が改善するということもわかってきました。荒れた里山を整備することが、私たちの健康にも役立つということであれば、こんなに素晴らしいことはありません。ぜひ、里山と関わり、里山で楽しみながら、心身ともに健康になっていただきたいと思います。



整備された里山で健康づくり